

## 既設特定住宅部品診断基準（貯水槽）

特定住宅部品にかかる優良取替事業等推進規程第 21 条第 1 項の規定に基づき、既設特定住宅部品診断基準（貯水槽）を以下のとおり定める。

### 1 診断項目

水槽診断士は、対象の貯水槽の診断にあたり、別表 1 に掲げる部位毎の診断項目について診断を行うこと。

### 2 診断方法

水槽診断士は、対象の貯水槽の診断にあたり、次の診断方法により診断を行うこと。

#### (1) 劣化診断

各項目について、診断の部位に応じて目視、聴覚、触覚により現地調査を実施し、別添 水槽判定基準（5 段階判定基準）により劣化度の判定（数値 1～5）を行う。

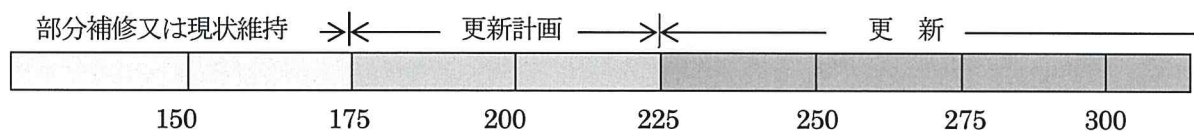
診断の評価は、診断項目の 5 段階判定基準の判定値と重要度を掛け合わせ、合計値が 174 以下であれば部分補修又は現状維持、175～224 は更新計画、225 以上は更新とする。

(判定基準)

①劣化状態	5:かなりひどい	4:ひどい	3:少し…あり	2:やや…あり	1:現在問題なし
②使用年数	5:20 年超	4:15～20 年	3:10～14 年	2:5～9 年	1:4 年以下
③設置場所	5:屋外、高置	3:屋外、地上	1:屋内		
④水位、頻度	5:水位 (高)、頻度 (多)	3:水位 (中)、頻度 (中)	1:水位 (低)、頻度 (少)		

(診断評価)

点数（判定値×重要度）の合計で 174 以下であれば部分補修又は現状維持、175～224 は更新を計画、225 以上は更新とする。



#### (2) 耐震診断

各項目について、目視による現地調査を実施し、また必要に応じて図面、計算書を確認して適合・不適合及び変形等の有・無の判定を行い、耐震性能の適否の診断を行う。

(判定基準)

耐震適否で適合・不適合及び変形等の有・無の判定を行う。

(診断評価)

設置年が 1996 年以前の場合は、耐震機能は不十分と評価する。

耐震適否で不適又は有が 1 つでもあれば耐震機能が不十分と評価する。

### 3 診断書の交付

水槽診断士は、該当貯水槽の診断を実施後、発注者に対して、財団が定める様式により、補修又は部品交換による延命策あるいは水槽の更新等の提案を踏まえた水槽診断結果報告書及び水槽診断書を交付すること。

水槽診断結果報告書及び水槽診断書の様式は、別添様式 1 及び別添様式 2 を標準とする。

様式1 水槽診断結果報告書

殿

報告書NO. \_\_\_\_\_  
平成 年 月 日

## 水槽診断結果報告書

水槽の耐震診断・劣化診断について、結果を下記にご報告いたします。

建物の名称				
住 所				
管 理 者	氏 名			
	住 所			
対 象 水 槽	用 途			
	メーカー名			
	水 槽 型 式	<input type="checkbox"/> 一体成型型	<input type="checkbox"/> 球形 <input type="checkbox"/> 円筒 <input type="checkbox"/> 角形	
		<input type="checkbox"/> パネル式ボルト組立形	<input type="checkbox"/> 角形	
	サ イ ズ	×	×	H
	容 量	m <sup>3</sup>		
	診 断 士	会 社 名		
氏 名				
住 所				
TEL.				
診断実施日		平成	年	月 日
登録番号		NO.		
総合所見				

様式2 水槽診断書

水槽診断書

作成日 年 月 日

会社名

作成者

登録番号

1/2

依頼者名						
件名				建物用途		
所在地						
水槽の概要	設置年	年	サイズ	× ×	容量	m <sup>3</sup>
	耐震	0.3・2/3・1.0・1.5・2.0			保温	単板・複合板
	用途	受水槽・高置水槽・その他( )				
	種類	<input type="checkbox"/> パネル式ボルト組立形 <input type="checkbox"/> 一体型 <input type="checkbox"/> その他( )				
	設置場所	上層階/屋上/塔屋・中間階/地階、1階・屋外				
架台の種類	形状	平架台・高架台	仕上げ	溶融亜鉛めっき・塗装・その他		
アンカーボルト	種類	埋め込み・後打ち	サイズ	M12・M16・M20	数量	

(耐震診断)

診断項目	診断項目	耐震適否
本体の仕様	1.本体の耐震仕様はよいか	適・不適
	2.中仕切板の耐震仕様はよいか	適・不適
	3.スロッシング対策構造になっているか	適・不適
	4.異常な変形、撓みはないか	無・有
	5.亀裂、損傷はないか	無・有
接続配管	6.変位吸収継手を使用されているか	適・不適
	7.変位吸収継手に劣化や損傷はないか	無・有
	8.変位吸収継手の近くで配管は固定されているか	適・不適
	9.水槽内部配管は堅固に支持固定されているか	適・不適
機器類・付属品類の取付状態	10.機器類・付属品類に腐食劣化や損傷はないか	無・有
	11.機器類・付属品類は緩みなく堅固に取り付けられているか	適・不適
架台	12.構成部材は必要強度を満足しているか	適・不適
	13.異常なねじれや傾きはないか	無・有
	14.腐食などの劣化や損傷はないか	無・有
据付ボルト	15.サイズ・本数は必要強度を満足しているか	適・不適
	16.配置は必要強度を満足しているか	適・不適
	17.腐食などの劣化はないか	無・有
コンクリート基礎	18.躯体と一体構造になっているか	適・不適
	19.形状、安定性、基礎巾はよいか	適・不適
	20.異常な割れ、亀裂、傾きなどはないか	無・有
基礎へのアンカーボルト	21.サイズ、本数は必要強度を満足しているか	適・不適
	22.配置は必要強度を満足しているか	適・不適
	23.埋め込み状態は必要強度を満足しているか	適・不適
	24.腐食などの劣化はないか	無・有
緊急時の対応策	25.緊急時給水に必要な水量を確保できる容量になっているか	適・不適
	26.緊急遮断弁などの配慮はなされているか	適・不適
	27.緊急時の消毒剤などが確保されているか	適・不適

コメント

- 耐震機能は十分です。
  - 耐震機能は不十分です。
- 耐震適否で不適または有が1つでもあれば不十分とします。

(劣化診断) パネル式ボルト組立型

部位	診断項目	判定基準による判定値	重要度	点数	処置方法	
槽本体	天板・側板 底板パネル (外面)	1. 変形の有無	①	5・4・3・2・1	2	・パネルの交換、 ・補修または塗装
		2. ひび割れ、亀裂の有無	①	5・4・3・2・1	2	
		3. 表面劣化度	①	5・4・3・2・1	1	
		4. 汚れ	①	5・4・3・2・1	1	
	マンホール	5. ハッチのがた・破損の有無	①	5・4・3・2・1	1	・ハッチの交換
		6. パッキンの脱落・破損の有無	①	5・-・-・-・-・1	1	・パッキンの交換
		7. 施錠の錆付・破損の有無	①	5・-・-・-・-・1	1	・錠前の取付、交換
水槽外部	補強材	8. 錆状態の程度	①	5・4・3・2・1	2	・補強材、ボルトの交換 又は補修
		9. 変形の程度	①	5・4・3・2・1	2	
		10. ボルトの錆付、破損の有無	①	5・4・3・2・1	1	
	取出口	11. 変形、傾きの有無	①	5・4・3・2・1	1	・補修又は交換
		12. 漏水状態の有無	①	5・4・3・2・1	1	
	外梯子	13. 錆付、破損の有無	①	5・4・3・2・1	1	・交換
	電極座	14. カバーの破損	①	5・4・3・2・1	1	
通気管	15. 防虫網の破損	①	5・-・-・-・-・1	1		
水槽内部	内部補強材	16. 錆、破損の有無	①	5・4・3・2・1	2	・補強材、ボルトの交換 又は補修
		17. 変形の程度	①	5・4・3・2・1	2	
	18. ボルトの錆付、破損の有無	①	5・4・3・2・1	1		
内梯子	19. 破損の有無	①	5・4・3・2・1	1	・内梯子の交換	
組立ボルト	外部ボルト	20. 錆付、破損の有無	①	5・4・3・2・1	1	・外部ボルトの交換又は 増し締め
		21. 締付可否	①	5・4・3・2・1	1	
	内部ボルト	22. 錆付、破損の有無	①	5・4・3・2・1	1	・内部ボルトの交換又は 増し締め
23. 締付可否		①	5・4・3・2・1	1		
シール材	24. 漏水状況の程度	①	5・4・3・2・1	1	・シール材の交換	
架台	25. 錆び状態の程度	①	5・-・-・3・-・-・1	2	・レベル修正 ・ボルトの交換	
	26. 傾きの状況、程度	①	5・-・-・3・-・-・1	2		
	27. 組立ボルトの 錆付、破損の程度	①	5・-・-・3・-・-・1	1		
アンカーボルト	28. 錆付、破損の程度	①	5・4・3・2・1	2	・補修又は交換	
水槽使用年数	29. 使用年数	②	5・4・3・2・1	20	・槽本体の交換	
設置環境	30. 設置場所	③	5・-・-・3・-・-・1	10		
水槽使用状況	31. 水位、給排水頻度	④	5・-・-・3・-・-・1	10		
		合 計				

(判定基準)

①劣化状態	5:かなりひどい	4:ひどい	3:少し…あり	2:やや…あり	1:現在問題なし
②使用年数	5:20年超	4:15～20年	3:10～14年	2:5～9年	1:4年以下
③設置場所	5:屋外、高置	3:屋外、地上	1:屋内		
④水位、頻度	5:水位(高)、頻度(多)	3:水位(中)、頻度(中)	1:水位(低)、頻度(少)		

(保全診断処置)

点数(判定値×重要度)の合計で 174以下であれば部分補修又は現状維持 175～224であれば更新を計画 225以上は更新



備考

(劣化診断) 一体型 (円筒形、球形、内部補強なし角形)

部位	診断項目	判定基準による判定値	重要度	点数	処置方法	
本体	本体 (天、側、底)	1. 変形の有無	①	5・4・3・2・1	2	本体の部分補修または塗装
		2. ひび割れ、亀裂の有無	①	5・4・3・2・1	2	
		3. 表面劣化度	①	5・4・3・2・1	1	
		4. 汚れ	①	5・4・3・2・1	1	
	マンホール	5. ハッチのがた・破損の有無	①	5・4・3・2・1	1	ハッチ、パッキン、錠前の交換
		6. パッキンの脱落・破損の有無	①	5・—・—・—・1	1	
		7. 施錠の錆付・破損の有無	①	5・—・—・—・1	1	
水槽外部	取出口	8. 変形、傾きの有無	①	5・4・3・2・1	1	補修又は交換
		9. 漏水状態の有無	①	5・4・3・2・1	1	
	外梯子	10. 錆付、破損の有無	①	5・4・3・2・1	1	交換
	電極座	11. カバーの破損	①	5・4・3・2・1	1	
	通気管	12. 防虫網の破損	①	5・—・3・—・1	1	
水槽内部	内梯子	13. 破損の有無	①	5・4・3・2・1	1	内梯子の交換
架台		14. 錆び状態の程度	①	5・—・3・—・1	2	レベル修正 ボルトの交換
		15. 傾きの状況、程度	①	5・—・3・—・1	2	
		16. 組立ボルトの錆付、破損の程	①	5・—・3・—・1	1	
アンカーボルト		17. 錆付、破損の程度	①	5・4・3・2・1	2	
水槽使用年数		18. 使用年数	②	5・4・3・2・1	20	水槽の交換
設置環境		19. 設置場所	③	5・—・3・—・1	10	
水槽使用状況		20. 水位、給排水頻度	④	5・—・3・—・1	10	
			合計			

(判定基準)

- ①劣化状態      5:かなりひどい      4:ひどい      3:少し…あり      2:やや…あり      1:現在問題なし
- ②使用年数      5:20年超      4:15～20年      3:10～14年      2:5～9年      1:4年以下
- ③設置場所      5:屋外、高置      3:屋外、地上      1:屋内
- ④水位、頻度      5:水位(高)、頻度(多)      3:水位(中)、頻度(中)      1:水位(低)、頻度(少)

(保全診断処置)

点数(判定値×重要度)の合計で **174**以下であれば部分補修又は現状維持 **175～224**であれば更新を計画 **225**以上は更新



備考